



公益財団法人
ひょうごコミュニティ財団

兵庫県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム キックオフフォーラム

支援者が市民・社会とともに
育ち合う場をどうつくるか
～「市民参加」をキーワードとして～

2025年11月25日（火）

（公財）ひょうごコミュニティ財団
代表理事 実吉 威



ひょうごコミュニティ財団の概要

- 2013年に市民の寄付により設立された「ひょうご初」「市民立」のコミュニティ財団（市民ファンド）
- 設立の中心となったのは県内の6つの中間支援組織
(宝塚NPOセンター、市民事務局かわにし、場とつながりの研究センター、コミュニティリンク、市民活動センター神戸、シミンズシーズ)
 - ～「NPO支援」がDNA
 - ～「助成財団」でもあり、市民活動団体でもある
- 「寄付者・市民」と「NPO等」の両方が顧客

《ビジョン》

市民の社会参加が豊かにひろがり 一人ひとりの思いが実現する社会

《ミッション》

あなたの「役に立ちたい」をカタチにし 市民とともに挑戦する



事業内容

1. 寄付者・市民の社会貢献の支援

- ・寄付者への情報提供と相談
- ・市民参加の機会と情報の提供 など

2. NPO等の支援

① 資金助成

・有園博子基金 ・ひょうご・みんなで支え合い基金

野田子ども若者応援基金 一般募金（若者支援）
田中茂治基金 中村毅一郎・婦美乃基金
岸鶴夫基金 實吉一夫基金
ASAHI・MITSUHASHI基金 匿名基金

・真如苑・ひょうご多文化共生基金 ・共感寄付

- ・（旧）ひょうご・みんなで支え合い基金（終了）
- ・輝け加古川みらい基金（終了）
- ・Project HEAT（終了）

② 非資金的支援

- ・相談、伴走支援、情報提供
- ・研修、ネットワークづくり
- ・認定NPO法人の取得支援 など

③ 調査研究、提言

- ・調査、提言
- ・支援者のネットワークづくり など



共感寄付

<https://hyogo.communityfund.jp/kyokan/>

<仲介><つながりづくり>の仕組み

- ・NPOにとって「寄付集め」
- ・市民（寄付者）にとって
NPOの活動を支える
信頼できるNPOを選びやすい
- ・公益財団法人による寄付の仕組み
なので、税制優遇が使える
- ・前身は2011年スタート。
累計で約7000万円（3300件）の寄付
約6000万円の助成を実施
(直近で年間1000~2000万円程度)

「共感寄付」って
ひょうごでがんばる団体を応援する

共感寄付って？

STEP1 「共感する」 背景を知る 活動がわかる

STEP2 「寄付する」 共感した活動を資金で支える

STEP3 「広げる」 誰かに伝える 活動を見守る

あなたの共感が地域に広がり
しあわせな未来につながります。

団体への応援はこちらからお願いします

右記のQRコードよりHPをご覧の上、
応援したい団体のページから
寄付をお申込みください。
(クレジット・銀行振込・ゆうちょ)

Scan Me!

共感寄付

<https://hyogo.communityfund.jp/kyokan/>

- ・2025年春にリニューアル
- ・現在、30団体が登録



しあわせな未来は、
わたしが選ぶ。

共感寄付

共感寄付ってなに？ 寄付募集中の活動 寄付するには 寄付への税制優遇について 寄付を集めたい団体の方へ 運営団体 お問い合わせ

助成事業

すべて まちづくり 人権・多様性 多文化共生・外国人支援 子ども・若者
カテゴリー： 芸術・文化・スポーツ 高齢者・障がい者

並び替え： 参加が新しい順 参加が古い順 達成率順

達成率 0% 達成額：¥0 目標金額：¥2,000,000
残り： 236 日 17 時間 39 分
募集期間：2025年6月1日～2026年3月31日

■ 特定非営利活動法人 ウィズアス
無料レンタル「KOBEどこでも車いす」
プロジェクト
なんのために？ 何らかの障がいがある方、高齢の方の旅のサポート（ユニバーサルツーリズム）を通して、見えてきた問題の一つとして、「少しの距離は歩けるが長時…」

© 2025年5月29日

達成率 2% 達成額：¥28,000 目標金額：¥1,000,000
残り： 236 日 17 時間 39 分
募集期間：2025年6月1日～2026年3月31日

■ 認定特定非営利活動法人 東灘地域助合いネットワーク
地域の絆を守り30年 空前の介護危機、住民同士の助け合いによる「くらし支援サービス」を存続させたい
なんのために？ 【サービス利用者は高齢者、障がい者、老々介護家庭、働きながら介護をする方、産前産後・共働き家庭などさまざま】復興目的のボランティアとして…

© 2025年5月30日

達成率 1% 達成額：¥48,000 目標金額：¥3,000,000
残り： 236 日 17 時間 39 分
募集期間：2025年6月1日～2026年3月31日

■ 特定非営利活動法人 福祉ネット星が丘
子ども以上大人未満の方々の自立ホーム設立
なんのために？ 10代20代の方々の自殺や自傷行為、オーバードース、社会との断絶など、現社会の状況から、厳しい生活を余儀なくされている養護施設卒業の「子…」

© 2025年5月30日

2025年5月29日

2025年5月29日

2025年5月29日



地域の市民活動団体や地域団体からよく聞くこと

「担い手が足りない」

「人が集まらない」

「誰か手伝ってほしい」

「若い人に参加してほしい」

・ ・ ・

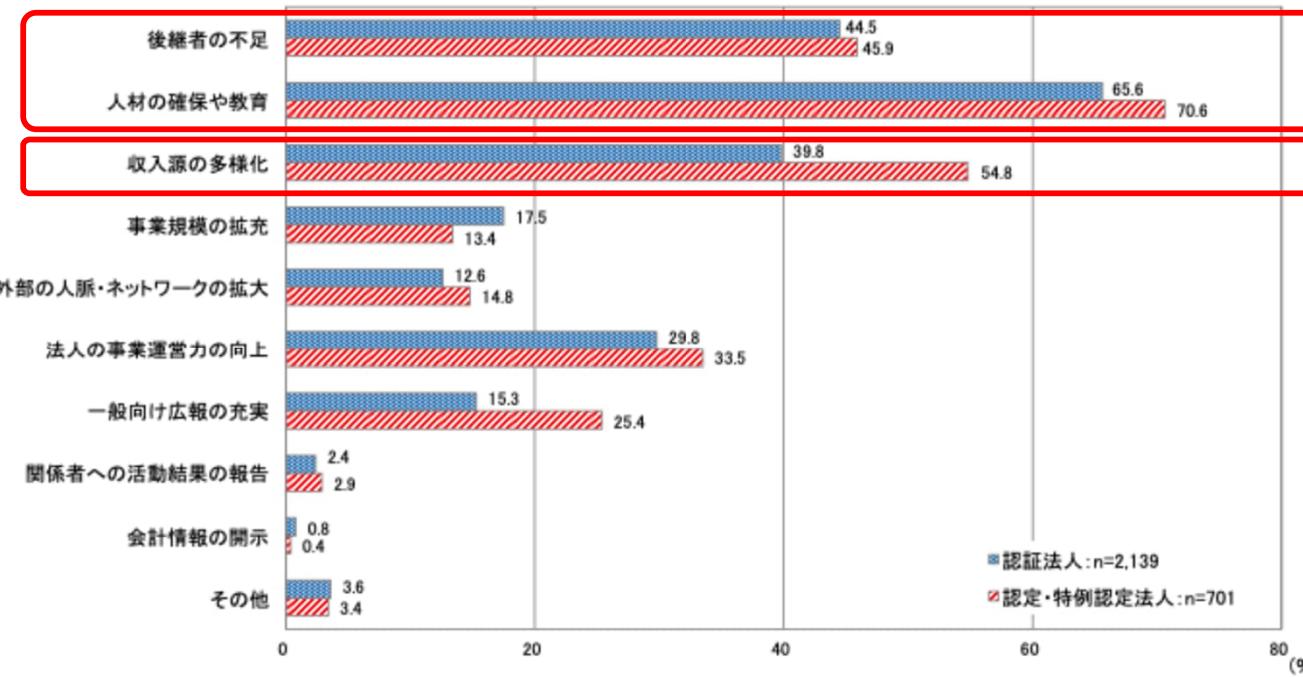


内閣府のNPO法人調査より

抱える課題について

- 法人が安定的な経営を行うに当たって抱えている当面の課題として、認証法人、認定・特例認定法人ともに、「人材の確保や教育」、「後継者の不足」、「収入源の多様化」が上位となっている。

【抱える課題(3つまでの複数回答)】



出典：「令和5年度 特定非営利活動法人に関する実態調査」（2024/3/28）



内閣府のNPO法人調査より

ボランティアの参加人数について

- ボランティアの参加延べ人数が100人以上の法人の割合は、認証法人では24.8%、認定・特例認定法人では48.2%となっており、認定・特例認定法人の方が高くなっている。

【ボランティア参加延べ人数】



5

出典：「令和5年度 特定非営利活動法人に関する実態調査」（2024/3/28）

7



どうしたらいいか

- 「市民の参加が少ない」ということ 자체が大きな課題という認識
→その前提で、打つべき手を考える
- NPOや地域活動団体
「担い手不足」という支援現場の視点（課題）
+ 「市民の参加・学びの機会の提供」という視点
※「支援者が市民・社会とともに育ち合う場」
- 市民、企業
- 行政

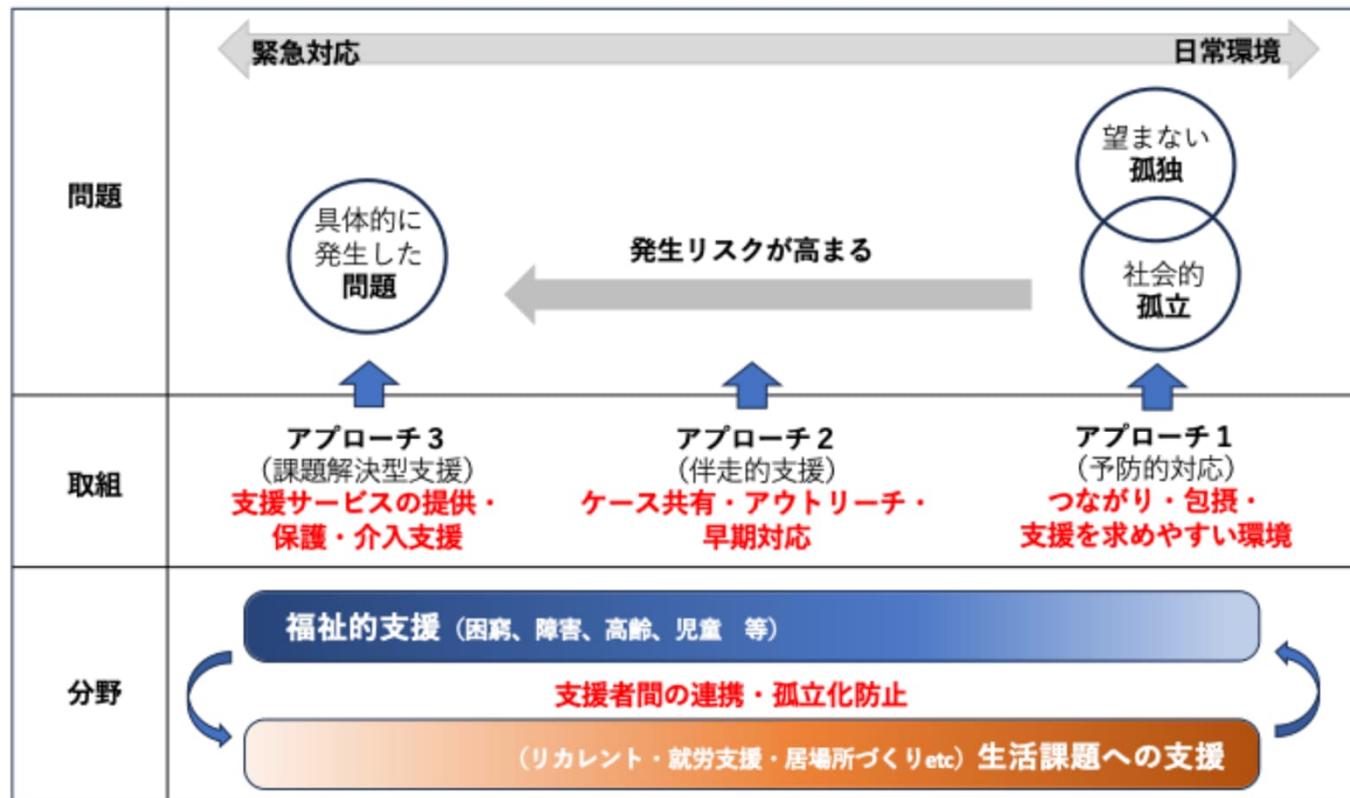
兵庫県版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム資料より抜粋

Hyogo Prefecture

03

3 孤独・孤立対策の全体像

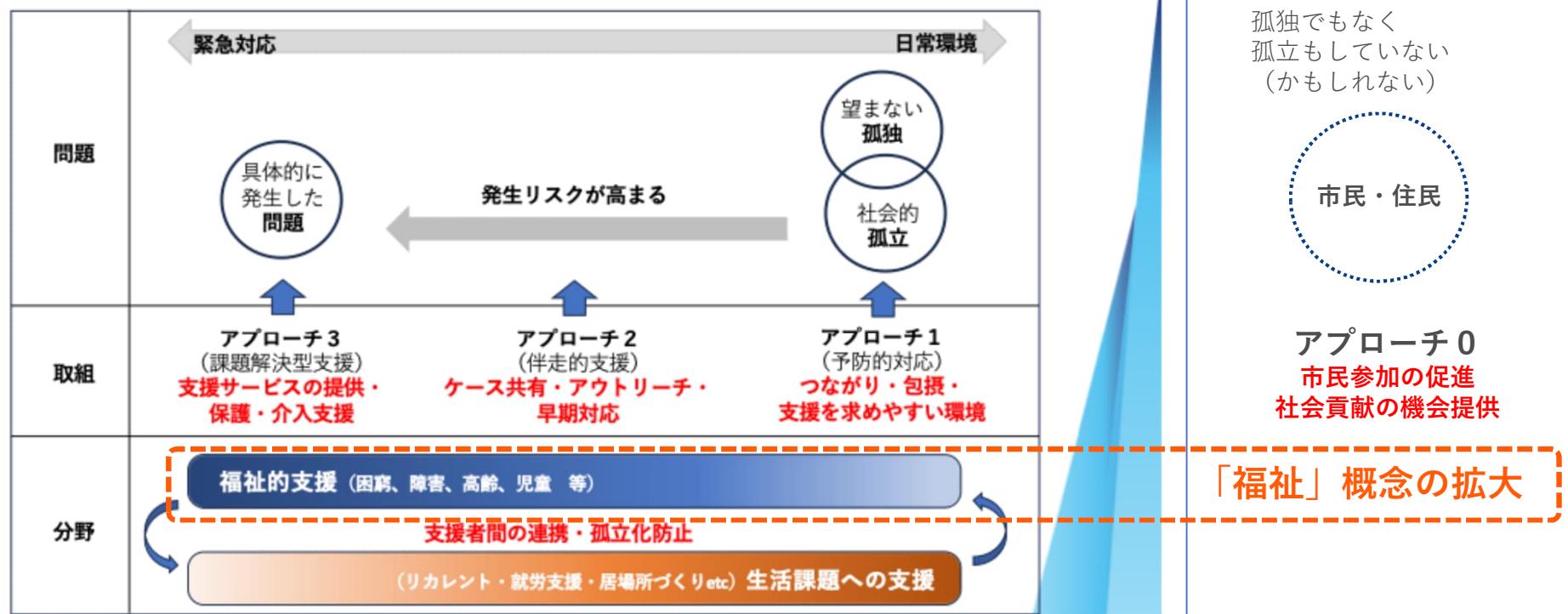
- ◆孤独・孤立対策においては、アプローチ3「緊急時の課題解決型支援」のみならず、アプローチ1「日常環境における予防的対応」、さらにアプローチ2「つながり続ける伴走的支援」が重要
- ◆福祉的支援のみならず、地域のあらゆる生活課題に関わる支援を横断的に活用することがポイント



03

3 孤独・孤立対策の全体像

- ◆孤独・孤立対策においては、アプローチ3「緊急時の課題解決型支援」のみならず、アプローチ1「日常環境における予防的対応」、さらにアプローチ2「つながり続ける伴走的支援」が重要
- ◆福祉的支援のみならず、地域のあらゆる生活課題に関わる支援を横断的に活用することがポイント



例えば・・・

令和7年度神戸市委託「NPO等の運営基盤に向けた市民参加にかかるセミナー等実施業務」

仲間を集めたいひと必見！

ボランティアマネジメントの基礎を学ぶ！

申込受付
12/10(水)まで

岡村 こず恵さん

柏木 輝恵さん

ボランティアマネジメントの基礎を学ぶ！
入門・実践講座

単発の参加も大歓迎！

2/2(土)には出会いのフォーラム開催

2025
12.13 土
13:30 - 15:30
会場
神戸市立婦人会館 大ホール
神戸市中央区橋通3-4-1

実践編
第1回
2026.1.8 木
13:30 - 15:30
会場
あすてっぷKOBEセミナー1
神戸市中央区橋通3-4-3

第2回
2026.1.23 金
13:30 - 15:30
会場
あすてっぷKOBEセミナー1
神戸市中央区橋通3-4-3

第3回
2026.2.3 火
13:30 - 15:30
会場
中央区文化センター 1001室
神戸市中央区東町115 10階

先着順
30 団体 / 個人
参加費
無料

QRコード

公益財団法人
ひょうごコミュニティ財団

<https://hyogo.communityfund.jp/uncategorized/2025/11/20/8070/>

令和7年度 内閣府「孤独・孤立対策担い手育成支援事業」
ボランティアマネジメントを学び、プログラムをつくる連続講座

参加のデザイン「実践セミナー」

第1回 9月13日 土 13:30-16:30 会場
小野市うるおい交流館エクラ
岐阜県岐阜市内 ※後日公開
オンライン zoom

NPOや地域団体にとって市民の参加（ボランティア）を募り広げていくことは、活動を続けていく上で重要なポイントです。「ボランティアマネジメント」とは、ボランティアと協働していくための考え方とその手法などのことです。今回のセミナーでは今回のなかでその考え方や基本を学び、他団体と交流する中で自団体なりのプログラムをつくり実際の募集につなげていきます。自団体にあつた参加の形を改めてデザインしてみませんか？仲間を集めたい、活動を広げたいみなさん、ぜひご参加ください。

セミナー概要

講師 岡村 こず恵さん 甲南大学 全学共通教育センター 特任准教授
2022年関西学院大学社会学研究科社会学専攻博士課程単位取得満期退学。専門はボランティア、NPO、市民参加、災害ソーシャルワーク研究。NPOを支援する中間支援組織である特定非営利活動法人ボランティアマネジメントセンター（18年設立）理事事務局長。ボランティアマネジメントや、NPOの運営実務など幅広い分野で、団体でのボランティアマネジメントの研究や研修等も担当。団体の事務局員次第で、2018年より現職。社会福祉士、防災士、ボランティアコーディネーター検定1級取得。公益財団法人ひょうごコミュニティ財団理事。共著に「テキスト市民活動論」など。

このセミナーで得られること

- ボランティアの意義やボランティアマネジメントの基本的な知識
- ボランティアを募集するためのプログラムの考え方や団体で考えるべきポイント
- ボランティアを募集できるようになるプログラム案
- 他団体や講師からのフィードバックによる自団体ならではの価値や魅力への気づき

宿題 自団体のボランティアプログラムを考えてみる

第2回 ボランティアマネジメントの考え方と基本

- 1.ボランティアの意義とは
- 2.ボランティアの特徴的理解
- 3.ボランティアマネジメントとは
- 4.ボランティアプログラムの作り方

対象

- NPOや地域活動団体等でボランティアを集めたい、仲間を広げたいと考えている個人・団体
- ボランティアについて改めて学びたい個人・団体

定員 50名程度 団体内から複数名参加可

参加費 全2回 1人2,000円
同一団体2人参加チケット2回 2人3,000円
同一団体3人参加チケット2回 3人4,500円

主催 中間支援3.0 2nd Ver.推進コンソーシアム
(一財)明石コミュニティ創造協会 / (特非)北播磨市民活動支援センター / (一社)シニシス・ソーシャル研究所 / (特非)さふNPOセンター / (一財)日本NPOセンター

申込 二次元バーコードを読み取りPeatixからお申し込みください
お問い合わせ 078-918-5248

<https://hyogo.communityfund.jp/seminer/2025/08/18/7825/>



最後に（私たちがやれること）

○垣根を越えた連携が大事

福祉分野／それ以外の市民活動の分野／地域活動

制度化された福祉／制度外の活動

官／民

NPO・地域活動／企業

NPO／中間支援NPO／行政／企業

・・・連携の可能性

○市民の力や主体性を信じる

ありがとうございました。
ぜひ皆さんと連携できればと願っています。



〒650-0022 神戸市中央区元町通6-7-9 秋毎ビル 3階
TEL: 078-380-3400 FAX: 078-367-3337
E-mail: hyogo@communityfund.jp